ISSN 1341-4046

埋文やまがた

2005年10月31日
第33号

上山市　中山城跡（家中屋敷）の発掘調査

「平成17年度山形県埋蔵文化財発掘調査報告会」開催のお知らせ

と　き：平成17年12月23日（金・祝日）　9：00～16：00
ところ：山形国際交流プラザ（ビッグウイング）　2階　入場無料
内　容：発掘調査報告、出土遺物の展示、**＜企画展＞**山形の弥生土器
＜体験コーナー＞勾玉つくり　など

財団法人　山形県埋蔵文化財センター
YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH
〒999-3161　山形県上山市弁天二丁目15番1号　TEL 023-672-5301㈹　FAX 023-672-5586
ホームページ：http://www.yamagatamaibun.or.jp
メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

2005年 発掘調査トピックス

今年度は国土交通省や、県農林水産部・土木部・教育委員会・日本道路公団（東日本高速道路株式会社）からの委託を受けて、県内22遺跡の発掘調査を行っています。今回はその中から５遺跡について、発見された生活の跡や当時の人々が残した道具などをトピックスとして紹介します。

なお、ホームページでは各遺跡の調査状況を、速報として毎週お伝えしています。合わせてご覧ください。

（www.yamagatamaibun.or.jp）

発掘調査遺跡年表

年代	時代		今年度発掘調査遺跡
3万5000年前	旧石器時代	前期	
		中期	
		後期	
B.C.1100（1万3000年前）	縄文時代	草創期	
B.C.4000（6000年前）		早期	
B.C.3000（5000年前）		前期	
		中期	万治ヶ沢遺跡 上野遺跡 百刈田遺跡 庚壇遺跡
B.C.2000（4000年前）		後期	
B.C.1000（3000年前）		晩期	
B.C.300 紀元前	弥生時代		
A.D.1			百刈田遺跡 庚壇遺跡
300	古墳時代		庚壇遺跡
400			百刈田遺跡 川前2遺跡 興屋川原遺跡 玉作1遺跡 玉作2遺跡 矢馳A遺跡
500			
600	飛鳥時代		
700	奈良時代		大在家遺跡 百刈田遺跡
800	平安時代		中落合遺跡 高瀬山遺跡HO2期 北向遺跡 上敷免遺跡 蛇崩窯跡 庚壇遺跡 上野遺跡 興屋川原遺跡 行司免遺跡 万治ヶ沢遺跡 玉作2遺跡
900			
1000			
1100			
1200	中世	鎌倉時代	上敷免遺跡 高瀬山遺跡HO2期
1300		南北朝時代	玉作1遺跡
1400		室町時代	木ノ下館跡 上野遺跡 稲荷山館跡
1500		安土桃山時代	亀ヶ崎城跡 堤屋敷遺跡
1600	近世	江戸時代	中山城跡 上ノ山館跡 上野遺跡 大在家遺跡
1700			
1800			
1900	近代・現代		

弥生時代のお墓！

南陽市百刈田（ひゃくがりた）遺跡

菊とブドウで知られる南陽市では、現在国道113号バイパス工事が盛んに行われています。この工事に先立って行われている百刈田遺跡発掘調査で、県内では貴重な弥生時代中期の再葬墓（さいそうぼ）群が発見されました。地表から約1m、黒色の粘土層から15基ほどの再葬墓が姿を現しました。再葬墓とは、主に弥生時代に行われた埋葬の一形式で、遺体を一度骨化してからこれらをまとめ、改めて埋葬したり、壺や甕、石棺などに入れて埋めるものです。

905号再葬墓の出土土器

905号・908号再葬墓の全景

←遺跡全景

百刈田遺跡ではこの再葬墓の跡から、壺や鉢などの土器が1個～数個まとまって出土しています。20mほどの範囲にまとまっているようです。出土した土器には弥生時代中期（約2000年前）に特徴的な同心円や渦巻き、三角形の文様が描かれています。

義経の時代の遺跡!

山形市上敷免遺跡

山形市の北部、成安地区にあり、須川右岸の自然堤防上に立地する平安時代前期と同末期の遺跡です。

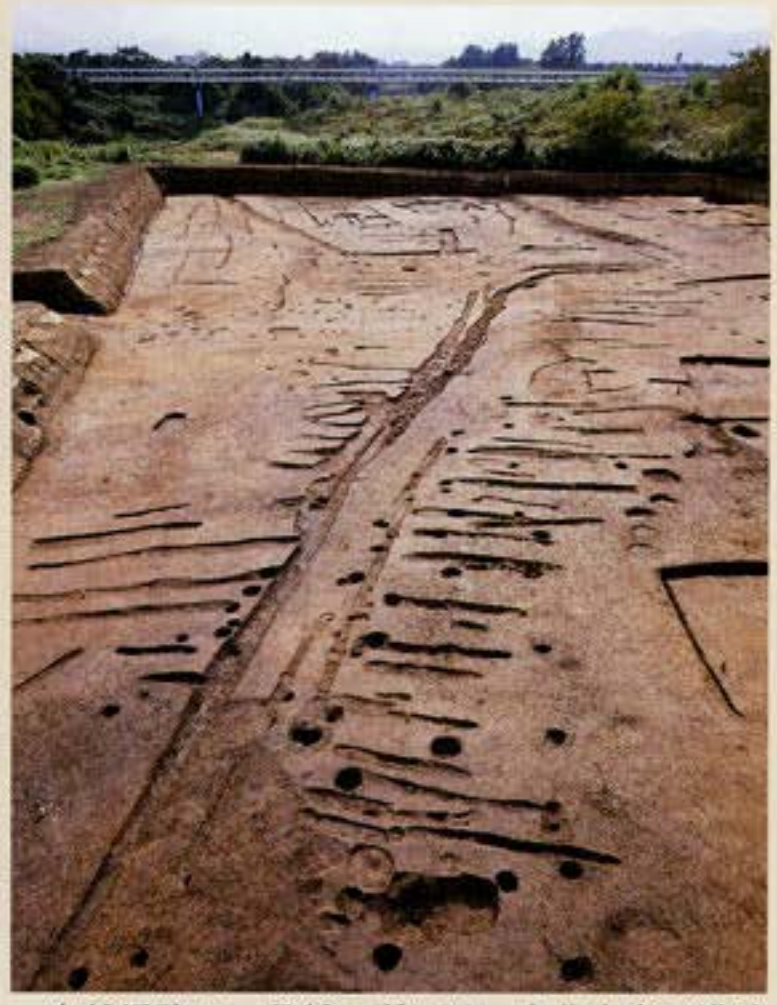
調査により、平安時代前期では、竪穴住居跡28棟、溝跡、畠状遺構等が検出されました。平安時代末期では、L字状の庇を有する大型の掘立柱建物跡をはじめとして、墓、カマド状遺構などが検出されました。

平安時代末期の鍛冶に関係すると考えられるカマド状遺構です。長軸は約4mで、先端部がドーム状になっています。また、先端部の壁面上部が、高い熱を受けていた様子がうかがえます。

平安時代末期の、L字状の庇を持つ掘立柱建物跡です。

平安時代末期と考えられるお墓です。長さ33cm程の刀子が出土しています。

自然堤防の高い所には、竪穴住居跡が並んでいます。当時の人達が、自然の地形をうまく利用していたことがわかります。



自然堤防の一段低い所には、南北方向の溝跡と、東西方向の畠状遺構が多数検出されました。

平安時代の土器製作地!

鶴岡市万治ヶ沢（まんじがさわ）遺跡

B地点中央部　平安時代の土器を焼いた跡が密集しています

鶴岡市の水沢駅から南西方向の約2.8kmの、熊野長峯の尾根上に立地する縄文時代と平安時代の複合遺跡です。A地点は、主に縄文時代の狩猟に関係する小規模な遺跡です。縄文時代中期（約4500年前）の土器と石器などが出土しました。

B地点は、平安時代の「赤焼土器」と呼ばれる土器を焼いた跡が十数基見つかっています。土器を焼いた跡は、直径２～３mの地面を浅く掘り込んで造られ、２～３基が重なり合うように見つかりました。そのほかに、大きな炭窯が３基と、縄文時代の落し穴が見つかりました。炭窯は製鉄や鍛冶に関係する可能性があります。平安時代の遺物では、赤焼土器のほかに須恵器が見つかっています。

←B地点で見つかった炭窯跡

→B地点　土器を焼いた場所が重なり合っています

戦争と饗宴の日々

酒田市亀ヶ崎城跡

木製品出土状況と天目台

「なまり玉」木簡

木簡の出土した溝

木簡と一緒に出土した遺物

礎石建物

今回の調査では、亀ヶ崎城跡が東禅寺城と呼ばれていた戦国時代の遺構・遺物が多く見つかりました。

天正11年（1583）に東禅寺城主となった前森蔵人は、天正14年に最上義光と通じて武藤氏と戦いました。上の木簡は、この戦に備えて東禅寺城へ鉄砲玉が運び込まれたことを示しています。

その他、漆器碗や箸、下駄など木製の生活用具や、魚、イルカ、カキ、アワビ、ウリなどの食べ物が出土しました。漆器の天目台は全国的にも出土例が少なく貴重な発見です。

軍事施設としてのお城、また、武士たちの生活の場としてのお城と、当時のお城の多様な性格が、調査によって明らかになってきています。

城下町に見る都市機能

高畠町大在家遺跡

江戸時代末に構築された木樋

高畠町の中心街にある大在家遺跡では、奈良～平安時代の河川跡と中～近世の城下町が発見されました。 特に中世では、本遺跡のすぐ東に位置する高畠城を一時居城にしていた伊達氏の家紋の一つである「竪三引両」のある漆器椀が出土しました。同様の漆器椀は、県内では戦国時代の伊達氏の居城である米沢城などで確認されており、伊達氏との関連が注目されます。

近世では、江戸時代中頃の『高畠城絵図』に描かれた道路や水路が、発掘調査により確認されました。絵図では分からなかった規模や形態、使用された時期幅などに新たな情報を加えることができました。また、木樋と桶を組み合わせた江戸時代末の上水道施設も見つかりました。

「竪三引両」文のある漆器が底面から出土した小判型の土坑

「竪三引両」文漆器椀

江戸時代前半に構築された石積み水路

秘宝館

注口土器

朝日町・八ツ目久保遺跡

急須のように、注ぎ口がついた土器を、一般的に「注口土器」と呼んでいます。縄文時代の注口土器は、古くは前期に例がありますが、器として定着し始めるのは、縄文時代中期の中頃以降からと考えられます。

山形県埋蔵文化財センターが調査を行った、朝日町八ツ目久保遺跡からは、深鉢形の注口土器が出土しています。縄文時代中期の中頃（約4500年前）になります。この時期の注口土器は、深鉢に長いゾウの鼻のような注口が付くタイプですが、やがて浅鉢形や鉢形のタイプが中心になっていきます。

球形の体部から、太い注口が急角度に伸び、外側に開く口縁につながります。文様は、注口を境に、それぞれ左右に一対の大きな渦巻文を展開させ、その間に小さな渦巻文をうめて、文様同士がつながる構成になります。

渦巻文は、粘土を貼り付けて盛り上げ、その両側に沈線を沿わせる「隆沈線文」の技法で描かれます。立体的で力強い効果を生み出しています。渦巻文が付いた注口部分は、大きく口を開けた蛇を連想させます。

大蔵村白須賀遺跡でも、同時期の深鉢形の注口土器が出土し、山形県指定有形文化財になっています。

これらの注口土器は、何らかの液体を入れて注ぐ用途が考えられますが、数が少なく、華麗な装飾を施したり、赤彩されるなど特別な作りであるため、祭りなどの際に特別な用途を担った器として用いられたと考えられます。

想像をたくましくすれば、祭りの時に集落の人達が、ヤマブドウなどの果実からつくったお酒などを入れて、酌み交わしていたのかもしれません。

（菅原　哲文）

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は，当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお，郵送料はご負担いただきます。

電話 **023(672)5301**（代表）

編集後記

12月23日の報告会では、県内８遺跡の調査成果について発表します。企画展では弥生時代の土器をテーマに展示します。また体験コーナーとして、誰でも手軽にできる勾玉つくりに挑戦でき、手作りの品をお持ち帰りいただけますので、ぜひご来場ください。